

# ひみこちゃん

## 記紀万葉の地を訪れる - その8 -

今回は、市民目線で「桜井のとっておき」を選んだ「大和さくらい100選」の中から、桜井市外山にある「宗像神社」に行ってきたよ～。

宗像神社は、天武天皇の御子である高市皇子によって建てられたよ。高市皇子の母君は筑前（福岡県）の胸肩氏の娘である尼子娘であったので、外戚の氏神である宗像の神をこの場所におまつりしたと言われているよ。



宗像神社のご祭神  
多紀理比売命  
市寸島比売命  
多岐津比売命

※天照大神の子で、「宗像三神」と呼ばれているよ。

この神社は、高市皇子の末裔によってまつられてきたけれど、南北朝時代の戦乱後には春日神社と呼ばれるようになったらしい。その後、江戸時代終わり頃に、国学者の鈴木重胤が調査して神社復興に力を入れ、福岡県の宗像大社から神霊を迎えて名前を宗像神社としたんだって～。

「山吹の立ちよそひたる山清水くみにゆかめど道のしらなく」  
(山吹が飾りを添えるようにほとりに咲いている山の泉—その水を汲みに行きたいと思うけれども、道を知らないことよ。)

この歌は、高市皇子が妹の十市皇女（母：額田王）が亡くなったときに詠んだ歌で、他2首とともに万葉集に収められているよ。皇子は持統天皇の時代に43歳で亡くなってしまったけれど、有名な万葉歌人である柿本人麻呂が、672年に起こった壬申の乱で高市皇子が活躍したことを詠った挽歌を作って皇子を讃えているよ。



また、鳥居の近くに「能楽宝生流発祥之地」の石碑があるよ。ここには、室町時代に栄えた大和猿楽と呼ばれる、金春・観世・金剛・宝生の4つの流派のうち、外山の宝生座があったとされてるんだって。宝生流は、伊賀にいた世阿弥の弟である蓮阿弥が大和の地へ出てきて、この外山で始めたと言われているよ。



《住所》桜井市外山818番地 JR・近鉄桜井駅南口より(徒歩)約15分。  
(バス)市コミュニティバス・奈良交通路線バス(桜井菟田野線)「外山」バス停下車すぐ。

### 「ひみこちゃんのページ」

<http://www.city.sakurai.lg.jp/himiko/index.html>

観光まちづくり課 (☎ 42 - 9111 内線 348)

E-mail : kanko@city.sakurai.lg.jp

twitter @himiko\_\_chan

【観光まちづくり課】